

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・尼崎市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	尼崎市地域文化遺産活性化事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>尼崎市総合計画後期まちづくり基本計画(平成30年度策定)や尼崎市文化ビジョン(平成29年度策定)を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や文化遺産を活用して地域活性化を推進するため下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域に長年継承されてきた文化財や伝統行事、祭礼等を守り、世代を超えて継承していく。 2 地域に長年継承されてきた文化財や伝統行事、祭礼等を、市内外に発信していく。 3 まちの歴史をともに学びあえるよう、文化財等の保存や学習機会の充実に取り組む。 <p>※尼崎市総合計画後期まちづくり基本計画と尼崎市文化ビジョンは以下のURLを参照 http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/index.html</p>			
6 実施体制			
<p>実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 教育委員会社会教育部歴博・文化財担当：本実施計画に係る全体の企画・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 尼崎市地域文化遺産活性化事業実行委員会（委員長：足立隆司） 構成団体（丸嶋保存会、南浜保存会、小嶋地車保存会、中在家若中、大官町地車保存会） 補助事業に係る書類及び成果物等は尼崎市地域文化遺産活性化事業実行委員会のうち当該年度に事業を実施する構成団体が管理することとし、実施期間終了後は各構成団体に継承する。 各年度の事業については、外部有識者に事業を実際に視察していただき意見聴取を行い、当該意見を踏まえ、教育委員会歴博・文化財担当の担当学芸員と尼崎市地域文化遺産活用実行委員会役員で構成される成果評価委員会において事業の実施報告及び成果の評価を行い、評価結果については、次年度以降の尼崎市地域文化遺産活性化事業で実施する事業計画内容に反映させていくものとする。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 22,256 千円	平成31年度申請額： 7,713 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民が地域の文化遺産に関心を持ち、数多くの文化遺産に触れる機会を通して、理解と愛着を深めることができ、将来を担うこどもたちに地域の文化遺産をしっかりと伝えることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	尼崎市立文化財収蔵庫・尼崎市立田能資料館が実施する、収蔵資料を活用した展示会や市民向け歴史講座、児童向け体験学習会の実施等（自主財源）		
事業概要：	富松城跡を活かすまちづくり委員会が行っている富松城跡を活かしたまちづくり活動や、尼崎ボランティア・ガイドの会が行っている寺町等のガイドボランティア活動等（民間団体）		
事業概要：	江戸時代に尼崎城が所在した城内地区において、尼崎の歴史文化の拠点施設や公園等を、国土交通省の交付金を活用して整備する都市再生整備計画事業（他省庁等補助事業）		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
いずれも現在、検討中である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	尼崎市教育委員会 社会教育部 歴博・文化財担当		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市内の観光客入込客数	関連事業:		事業①・④・⑦・⑩・⑬		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 2,400,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,500,000 人					
設定根拠 1 :	毎年2,000人程度の観光客増があるものと想定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
2,400,000 人	2,276,000 人	2,376,000 人	人	人	人	
0%	-124%	-24%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	歴史や文化財等に関するボランティア活動参加者数	関連事業:		事業②・⑤・⑧・⑪・⑭		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 4,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,000 人					
設定根拠 2 :	毎年200人程度の参加者増があるものと想定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
4,000 人	3,187 人	2,566 人	人	人	人	
0%	-81%	-143%				
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	尼崎の歴史に関心を持っている市民の割合 (尼崎市実施の市民意識調査結果に基づく)	関連事業:		事業③・⑥・⑨・⑫・⑮		
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 56 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 61 %					
設定根拠 3 :	毎年 1 % 程度の上昇があるものとする。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
56 %	57 %	56 %	%	%	%	
0%	20%	0%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	丸嶋秋の例大祭映像記録作成事業	実施団体：	丸嶋保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	丸嶋地区の例大祭における祭礼の状況や丸嶋地区地車修理の状況など、後世に伝承していくために必要な記録をDVD製作により行い、DVDを配布すると共にユーチューブ等の動画サイトで動画を広く公開する。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	動画サイトの年間閲覧回数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,000 回					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0 回	277 回	18,688 回	回	回	回	
0%	9%	623%				
事業②：	丸嶋秋の例大祭後継者育成事業	実施団体：	丸嶋保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	地域住民や子供達を対象に、丸嶋地区の祭礼や地車について講習会を行うと共に、お囃子の演奏体験・地車の曳行体験を実施し、祭礼や地車曳行を継承する担い手を確保・育成する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	丸嶋保存会の会員数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 120 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 130 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
120 人	120 人	121 人	人	人	人	
0%	0%	10%				
事業③：	丸嶋地区地車復元修理及び修理現場一般公開事業	実施団体：	丸嶋保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	丸嶋地区で大切に継承している地車は、経年変化で傷みや歪みが目立ってきており、現状では今後継続的な安全曳行が難しいため、既存形式・寸法を踏襲して復元修復を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	祭礼参加者（築地だんじり祭りにおける丸嶋地区からの参加者数）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 160 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
100 人	120 人	120 人	人	人	人	
0%	33%	33%				

事業④：	南浜秋の例大祭映像記録作成事業					実施団体：	南浜保存会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	南浜地区の例大祭における祭礼の状況や南浜地区地車修理の状況など、後世に伝承していくために必要な記録をDVD製作により行い、DVDを配布すると共にYouTube等の動画サイトで動画を広く公開する。										
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	動画サイトの年間閲覧回数										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 3,000 回										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
回	0 回	170 回	回	回	回						
	0%	6%									
事業⑤：	南浜秋の例大祭後継者育成事業					実施団体：	南浜保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	地域住民や子供達を対象に、南浜地区の祭礼や地車について講習会を行うと共に、お囃子の演奏体験・地車の曳行体験を実施し、祭礼や地車曳行を継承する担い手を確保・育成する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	南浜保存会の会員数										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 149 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 160 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	149 人	152 人	人	人	人						
	0%	27%									
事業⑥：	南浜地区地車復元修理及び修理現場一般公開事業					実施団体：	南浜保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	南浜地区で大切に継承している地車は、経年変化で傷みや歪みが目立ってきており、現状では今後継続的な安全曳行が難しいため、既存形式・寸法を踏襲して復元修復を行う。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	祭礼参加者（築地だんじり祭りにおける南浜地区からの参加者数）										
目標値：	【現状値】平成 29 年度 140 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 200 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	140 人	140 人	人	人	人						
	0%	0%									

事業⑦：	小嶋秋の例大祭地車映像記録作成事業	実施団体：	小嶋地車保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	小嶋地区の例大祭における祭礼の状況や小嶋地区地車修理の状況など、後世に伝承していくために必要な記録をDVD製作により行い、DVDを配布すると共にYouTube等の動画サイトで動画を広く公開する。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	動画サイトの年間閲覧回数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,000 回					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
回	回	0 回	回	回	回	
		0%				
事業⑧：	小嶋秋の例大祭後継者育成事業	実施団体：	小嶋地車保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	地域住民や子供達を対象に、小嶋地区の祭礼や地車について講習会を行うと共に、お囃子の演奏体験・地車の曳行体験を実施し、祭礼や地車曳行を継承する担い手を確保・育成する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	小嶋地車保存会の会員数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 22 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	22 人	人	人	人	
		0%				
事業⑨：	小嶋地区地車復元修理・修理現場一般公開事業	実施団体：	小嶋地車保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	小嶋地区で大切に継承している地車は、経年変化で傷みや歪みが目立ってきており、現状では今後継続的な安全曳行が難しいため、既存形式・寸法を踏襲して復元修復を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	祭礼参加者（築地だんじり祭りにおける小嶋地区からの参加者数）					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 70 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	70 人	人	人	人	
		0%				

